

一般質問



神田
議員

総合福祉保健センター（仮称）について

質 平成19年3月に松浦市総合福祉保健センター建設検討委員会が設置された経緯について伺います。

答 本市総合計画に、保健・医療・福祉の一体的推進を定めています。このことを受け建設に向けた協議をはじめており、構想策定のために建設検討委員会を設置いたしました。

質 建設検討委員会の答申内容について伺います。

答 保健サービス、高齢者や障害者の自立支援、福祉団体の活動支援に資する活動拠点として、また、市民の方が気軽に集い、触れ合い、交流し、健康増進と福祉の向上につながる保健福祉の拠点施設と位置づけております。

質 建設については、本腰を入れて検討に入る時期に来ていると思っている。基本構想と基本計画策定の時期、建設場所及びコミュニケーションづくりの拠点としての機能を持たせた市民総合プラザ的施設の構想の具体的な考え方について伺います。

答 建設時期は今後検討してまいります。

ます。建設場所は、消防署の跡地一体を考えています。総合プラザ的施設構想は、子どもから高齢者の方まで多くの市民の人たちが保健、福祉、医療のサービスが受けられる交流拠点にしたいと思っています。

人口減少対策について

質 市は、人口減少対策の一環として、いろいろ施設を打ち出しているが、人口減少は一向におさまっていない。この要因等をどのように考えているか。また、その要因等について、調査、分析をされたことはあるか。

答 出生数が死亡数を下回る自然減や少子化、若年層の都市部への流出が主な要因となっております。今現在、人口動向の分析や将来人口推計に着手をしている状況です。

質 今後、松浦市として人口減少問題に対する対策をどのように進めていくとされているのか。

今後、取り組むべき実効性のある施策を検討するためにも、庁内の若手職員を中心に人口減少問題対策プロジェクトチームを設置したらどうかと思う。見解を伺いたい。

答 推進本部を設置して、全庁的に取り組み、また、やる気のある若い世代の下部組織を設置し、体制を整備したいと思っています。

一般質問



高橋
議員

所得税の源泉徴収漏れについて

質 所得税の源泉徴収漏れによって該当事業者に多大な迷惑をかけたうえで市としても延滞税と不納付加算税を国に納付しなければならない事態になっている。県と県下のほとんどの市町で同じような状況であったとはいえ、当市の状況はどうなっていたのか。

答 平戸税務署から所得税法に係る源泉徴収の調査依頼があり、調査した結果、同法で規定されている個人経営の測量士、建築士等に対する委託料について源泉徴収していなかったために生じたものです。その原因は、所得税法上の認識不足と対象事業者を屋号などから法人と誤認したための事務処理上の錯誤によるものです。

質 今後の再発防止についてどう考えているのか。この事案は全課にまたがって発生している。法制係といった取りまとめの担当部署を設けたらどうか。

答 今後このような事態にならないよう、職員研修を行うとともに法律や制度の改正があった場合のチェック

ク体制を整備して再発防止に努めてまいります。法制係等の設置をしてはどうかとのご意見ですが、まずは事務処理の適正な対応が重要ですので、全職員に対する指導を行ってまいります。

本市の女性幹部登用の現状について

質 女性幹部の割合はどうなっているか。

答 26年12月1日現在、消防職員を除く正規職員数は351名で、このうちの女性職員は122名です。

幹部職員の割合は、課長級が31名中の3名で10パーセント、課長補佐級が56名中の10名で18パーセント、係長級が78名中の26名で33パーセントとなっております。

質 女性が昇進意欲を持ち、幹部として存分に活躍するためには、女性におかれては環境の整備が大切である。出産、子育て、介護など女性の負担は大きい。地方創生法でも女性の活躍が地方再生の鍵となると言及している。市の考えはどうか。

答 現時点では、女性登用に関する明確な目標を掲げていませんが、意欲、適性、経験や実績を見据えたいうえで幹部職員の登用を進めてまいります。